

# 生活 ビジネス 最前線

チエルのオフィス（東京都品川区）



インターネット上でデータを管理するクラウド技術を活用したチエル（東京）の教材配信サービス「チエル・ドット・ネット」が好調に推移、2004年にサービスを始めから16年12月までに利用者数が300万人に上っている。

## ◀インターネットで教材配信

チエルは1997年に設立、タブレット端末や電子黒板を使用した授業を支援するシステム、教材を開発し、小学校から大学まで幅広く提供している。

大学入試のセンター試験が2020年度から新テストに替わることに関連し、

「チエル・ドット・ネット」は中学、高校、大学を対象に展開する配信サービス。利用者は英語や韓国語、中国語などの語学を学校や自宅のパソコンを使ってネットで学習できる。従来はCD-ROMで提供していたが利便性を考慮、パソコンネット環境があればIDとパスワードを入力して手軽に利用できるようにした。

英検対策やTOEIC、TOEFLのテストに対応した教材など計22種類を用意。学校が一括購入したり、指定された教材を学生が個別に買ったたりしている。教員は生徒の学習履歴を見て進み具合を知ることができる。

川居暉社長(54)は「大学入試改革に向けて、ますます高校での英語試験対策のニーズが高まる」と指摘した。利用する教員から「英検などの試験対策は教材で対応することで、授業では実用的な英語力を習得する時間が取れる」、生徒からは「目標設定がしやすく、解答や結果もすぐに確認できる」といった声が寄せられているという。

タブレット端末を利用した授業が多くなったことを受けて、15年には対応型の教材も提供。今後さらに教材の種類を増やすなどして、利用者の増加を自覚する。



チエルの川居社長